

泉南市国際化ビジョン(改訂版)(案)に対するパブリックコメントについて

「泉南市国際化ビジョン(改訂版)(案)に対するパブリックコメントの実施結果は、下記のとおりです。

1. 募集期間: 令和8年6月1日(月)から令和8年6月30日(火)
2. 提出方法: 持参、郵送、ファックス及び E メール
3. 提出者数: 1名
4. 寄せられた意見と意見に対する市の考え方
5. 氏名・住所・連絡先の記載がない方、市民等であること(在住・在勤・在学等)を確認できない方、期日を過ぎて提出があった意見は記載していません。
6. 計画内容に触れていない意見、計画<案>の賛否を問うものではないため賛否の結論のみの意見は記載していません。
7. 提出された意見等に類似したものがある場合は、これらを集約し適宜整理したうえで記載している場合があります。

	ご意見	回答
1	「まちの国際化を推進することは市としてのアイデンティティの確立につながり」との記述がありますが、『国際化＝泉南市のアイデンティティ』という意味で使っているのか	ご指摘では、「国際化そのもの」を市のアイデンティティと位置付けておられますが、本ビジョンでは、本市が関西国際空港に近接する立地や地域特性などの強みを生かした国際化を推進することは、地域の魅力や価値を高め、市としての個性や独自性(アイデンティティ)のさらなる確立につながるということを表現したものです。
2	「泉南市のアイデンティティ」の「アイデンティティ」は、どのような意味合いで使っているのか	
3	ビジョン内で使われている国際化という言葉について	いただいたご意見のとおり、国際交流をはじめとする様々な取組を進める上では、自国や地域の歴史・文化への理解を深め、その魅力を再認識することは大変重要であると考えています。 本ビジョンにおける「国際化」とは、海外との交流やインバウンドなどの対外的な取組に限定するものではなく、多文化共生の推進や国際理解の促進など、地域社会における取組も含めた幅広い概念として捉えています。

	ご意見	回答
4	「外国につながる市民」について、泉南市国際化ビジョンの三本の矢の一つを充てる覚悟があるか	本ビジョンでは、国の政策動向を踏まえつつも、中長期的な視点から本市が目指す国際化及び多文化共生のまちづくりに向けた方向性を示すものです。 「外国につながる市民」に関する施策については、市内での受入れ人数の動向にかかわらず、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指す上で重要な取組であると捉えています。
5	「外国につながる市民」に関わる言葉の障壁を解消するにも予算のハードルがあるのなら、ボランティア活動に頼ってみてはどうか	貴重なご提案をいただき、ありがとうございます。今後の具体的な施策検討の際に参考とさせていただきます。
6	外国語に軸足を置いた教育推進策で子どもたちのグローバルな視野は育つのか	本ビジョンでは、「グローバルな視野」を外国語能力のみで育むものとは考えておりません。外国語教育に加え、自国や地域の歴史・文化への理解、多様な文化や価値観への理解、コミュニケーション能力などを総合的に育むことが重要であると考えており、外国語教育はそのための取組の一つとして位置付けています。